

請願第 54号

平成30年12月17日

川崎市議会議長 松原成文様

中原区

市ノ坪本町会

ほか 5名

川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の跡地の活用に関する請願

請願理由

私たちの住む中原区市ノ坪は、中原消防団住吉分団の活動管轄となっており、市ノ坪班器具置場が整備されています。この器具置場は、細長く形成される市ノ坪及び当該市ノ坪本町会のおよそ中心に立地しており、有事の災害活動拠点として非常に大きな役割を担ってきました。また、日頃の火災・災害への対応や予防啓発活動の取組だけでなく、地域で私どもが行う催しなどの際にもトイレや水道といった設備の一部を利用させていただく機会もあり、特に、町内会最大の行事である祭礼時には、当該器具置場前の道路を挟んで新幹線高架下に神酒所等を設営するなど、コミュニティ形成の中心的な役割を担う施設・場所として市ノ坪地域及び町会においても大変感謝している次第です。

しかしながら、昨年、木月4丁目への移転・新設の方向性が示されました。当該消防団からの要望やそれらを踏まえた市議会での質疑内容も理解の上、管轄地域の消防力向上の観点からこの移転・新設について歓迎すべきものですが、前述のように地理的な立地条件や密集市街地において限られた有益な土地であり、町会コミュニティの中心的な役割を担う場所ということからも地域課題となっている防災倉庫兼町内会館用地として活用されることが多くの地域住民の望みであります。

2018年（平成30年）2月2日に健康福祉委員会にて審査されました「請願第38号 川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班の器具置場の保有に関する請願」では、そういった様々な行政ニーズを踏まえ、まず、「今後の手続の進め方につきましては、関係部局と協議してまいりたい」旨、当時の消防局長が答弁をしております。前述の地域課題や行政ニーズを把握し、そのような協議を行った上で、前述のような跡地の活用が積極的に図られるよう土地の所有者である東海旅客鉄道株式会社に対して交渉を行って下さい。

請 願 要 旨

関係部局と協議の上、跡地の活用が図られるよう東海旅客鉄道株式会社に対して交渉すること。

紹介議員

押 本 吉 司

大 庭 裕 子